

網地島ライン株式会社

- (1) 情報公開シート I (PDCAサイクルシート)
- (2) 情報公開シート II (財務諸表等)
- (3) 情報公開シート II の補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録(作成していないため不添付)
- (12) 事業計画書

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	平成	28	年	7	月	1	日
-------	----	----	---	---	---	---	---

市所管部署	石巻市 復興政策部地域振興課
-------	----------------

2 法人名称等

法人名称	網地島ライン株式会社
法人所在地	石巻市 門脇町三丁目1番19号
設立年月日	昭和 53 年 7 月 28 日
代表者職・氏名	代表取締役 安倍 友一

設立目的・経過	石巻市より同一航路に就航していた友福汽船(株)及び網地島漁協の一般定期航路事業部門を併合して、余剰船舶を緊急医療船として同島に常駐してほしいとの要望から、海運局・宮城県・牡鹿町を加えた離島航路合併推進協議会を立ち上げたが、友福汽船が当時黒字に転じていたため、持ち株比率65%を主張して網地島漁協と対立、合併は難航した。これを解決するため、安定するまで、石巻市・牡鹿町・田代浜漁協が第三者出資し、昭和53年7月新会社を設立。平成18年には、石巻市の鮎川・網地島航路を併合し、以降島民の足として生活航路を担っている。
---------	--

3 定款上の事業内容

(1) 一般旅客定期航路事業
(2) 売店及び食堂の経営
(3) 観光事業
(4) 上記に付帯する一切の事業
(5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の者の出資・出捐額	市以外の者の出資・出捐割合
10,000 千円	1,200 千円	12.0 %	株式会社友福	5,000 千円	50.0 %
			宮城県漁業協同組合	3,500 千円	35.0 %
			田代島離島振興委員会	300 千円	3.0 %

※出資額が多い順に上位3者(個人は「個人」と表記)を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	H25期末	H26期末	H27期末
常勤	1	1	1
うち市職員			
うち市退職者			
非常勤	6	6	6
うち市職員	1	1	1
うち市退職者			
計	7	7	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者			

(2) 職員

	H25期末	H26期末	H27期末
常勤	16	15	17
うち市職員			
うち市退職者			
非常勤	4	4	4
うち市職員			
うち市退職者			
計	20	19	21
うち市職員			
うち市退職者			

※市職員(及び市退職者)とは、市の常勤の特別職及び一般職の者(及びそれらの職にあった者)で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

- 一、安全運航
- 一、観光客誘致により、減少する島民利用者数を補い、航路を安全且つ発展させ、島民の利便を確保する。
- 一、田代島緊急医療船の常駐により、島民の生命の安全を守る。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度期
新規造船計画の進捗	-	目標計画	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度就航開始に向けた、新規造船計画の策定 国の事前承認の取得 		<ul style="list-style-type: none"> 変更計画の策定 事前承認取得に向けた協議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金対象として計画承認取得 新船舶建造着工 	<ul style="list-style-type: none"> 年度内、または31年度初旬での就航開始
		実績	<ul style="list-style-type: none"> 協議会設置 計画素案策定 - 100t/1隻 50t/1隻 	<ul style="list-style-type: none"> 国・県との事前協議の実施 補助金対象として計画承認取得 			
目標・指標の説明			<p>現在所有の三隻は、いずれも老朽船であり、安全運航上大きな問題があるばかりでなく、旧式のため交換部品の調達が難しくなっている。又、修繕に多額の費用が発生する。三隻を高速の二隻とし、経費節減の上、1時間以上の所要時間を大幅に短縮し、旅客の利便向上に資する。</p>				
目標未達の場合の要因分析			<ul style="list-style-type: none"> 一、3.11津波による、業務・施設復旧の遅れ 一、補助制度の変遷による、事務棟の複雑化 一、造船計画の大幅な方針変更に伴う、協議時間の延長（追加） 				

目標項目・指標	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
離島航路事業 (一般旅客定期航路事業)	網地島白浜海水浴場の開設及び期間中の好天に恵まれたこと、田代島の猫人気更に拡大したことなどにより、過去最高の輸送人員で有ったH22年度を大幅に上回る乗客数となった。	船員もさることながら、少ない人数の事務等陸上員で、急増する観光客を見事に捌いたことは賞賛に値するが、発着場増設を控え、過重労働を改善したい。	若い乗組員が定着して、漸く船員不足が解消され、安定した輸送サービスが提供できた。懸案の、発着場の市中心部への移転のめどが立ったものの、老朽化した船舶の代替については、制度の煩雑さも有り、進展していない。
事業の公共性、公益性	<p>田代、網地島両島の主力産業は、沿岸及び養殖漁業であり、その漁獲物の殆どが石巻市の魚市場に、弊社船により輸送されます。</p> <p>又、田代島は石巻市、網地島は牡鹿町と行政が分かれていたが、平成17年4月1日、石巻市と牡鹿町他5町が合併し新石巻市となり政治、経済、生活、物流等（郵便の航送も）の殆どを新石巻市（石巻港・鮎川港）とのパイプで繋がれています。</p> <p>このように、両島とも生活物資の殆どと、環境衛生関係車両等の輸送の全てが当航路に依存しております。また無医村である田代島には緊急医療船として、当社船が常駐しており、無医村の田代島、病院が有っても緊急患者の搬送を要する網地島島民の、生命を支える、重要な役割を果たしています。</p> <p>以上のことから当航路は公益上必要不可欠な航路であると思料されます。</p> <p>又近年においては、田代島の猫を目的とした観光客が急増し、石巻市における観光客増加の一翼を担っています。</p>		

